

発行所 自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)
〈毎週火曜日発行〉



自由民主党ホームページ URL <https://www.jimin.jp/>

自民党北海道第12選挙区版

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

ニッポンを
新たに

武部あらた

自民党道連会長・自民党北海道第十二選挙区支部長

さん

日本列島を、強く豊かに。

わが国初の女性総理大臣、高市早苗内閣が誕生し、国民世論の高い支持を得て、「新しい時代、新しい政治」の幕開けを感じます。

わが国は歴史的転換点を迎えています。さらに年明けから世界情勢は大きく変動し、内外ともに予断を許さない状況です。高市総理は、物価高から暮らしを守り、強い経済を実現する総合経済対策を実行し、「今日よりも明日は良くなる」、そうした実感を持てるよう「日本列島を、強く豊かにする」ために全力をあげています。

与野党との協力を得ながら、いわゆる「年収の壁」引上げに当たり、中間層も含めた幅広い現役世代を対象に、所得税負担の軽減を行うこととしました。さらに、給食費の抜本的負担軽減、いわゆる「給食の無償化」もこの4月から実施します。

「責任ある積極的財政」を展開し、未来を見据えた大胆な投資で力強い経済成長へとつなげていくためには、政権のさらなる安定が必要です。私は、盟友である小林鷹之政調会長とともに政調副会長兼事務局長として高市総理を支え、日本と日本人の底力を引き出し、日本の「新しい時代」「新しい政治」を切り拓いていく所存です。

「ニッポンを新たに」の気概に燃え、「オホーツク・宗谷の新时代」をめざし、ふるさとオホーツク・宗谷の皆さんとともに頑張りたい。皆さん！日本の希望の未来は、われらオホーツク・宗谷から始めようではありませんか。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

自民党北海道第十二選挙区支部長

武部新

片山 さつきさん(参議院議員・財務大臣)に聞く

特別
インタビュー

激動の時代を乗り越える。 日本とオホーツクを守る「責任ある政治」とは

Q1 「政権の使命・国際情勢が緊迫する中、高市総理、そして片山大臣は、どのような決意で国政運営にあたられていますか？」

片山 今はまさに「戦後最大級の難局」です。ウクライナ情勢や中東情勢、中南米情勢、そして、対中関係を含むアジアの情勢など、世界は激変しています。

この中で国民の生命と財産を守り抜くことこそ、私たちの最大の使命です。外交・安全保障において「ぶれない軸」を持ち、同時に国内では物価高などの課題にスピード感を持って対応します。高市総理のもと、きれいなことではない、現実を見据えた「強い政治」「決断できる政治」を貫く覚悟です。

Q2 「経済・財政・地方経済の疲弊が指摘されています。財務大臣として、どのように経済を立て直していきますか？」

片山 私は「責任ある積極的財政」を掲げています。財政規律は重要ですが、それ自体が目的ではありません。目的は「成長する強い日本を未来に残す」ことです。

必要な危機管理投資や、地方の成長分野への投資には、躊躇なく財源を投入します。特に、円安や資材高騰の影響を受ける第一次産業や中小企業に対しては、あらゆる手段を排除せず、きめ細かな対応を行います。「縮み志向」から脱却し、地方が豊かになることで国全体が成長する好循環を作ります。

Q3 「政治の安定」「政治には様々な意見がありますが、今の日本に必要な政治体制とはどのようなものでしょうか？」

片山 何よりも「安定」「スピード」、そして「実行力」です。これだけ国際情勢が厳しい時に、外交方針が定まらない、あるいは日米同盟の重要性を軽視するような政治状況になれば、それは即座に国益を損ないます。

聞こえの良い言葉を並べるだけではなく、厳しい現実を直視し、「スピード感」と責任を持って政策を遂行できる確固たる基盤が必要です。政治の混乱や停滞は、今の日本にとって最大のリスク要因だと言わざるを得ません。

Q4 「地域の役割」「北海道第12区オホーツク・宗谷は、食料やエネルギーの供給基地として重要な地域です。」

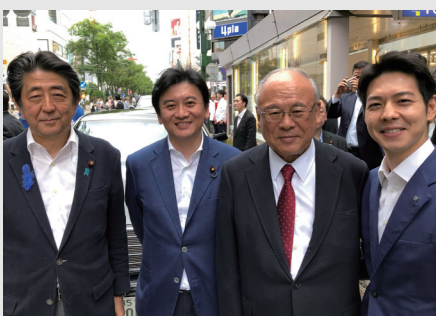
片山 おっしゃる通り、オホーツク・宗谷は日本の「生命線」です。ここが揺らげば、日本の食卓もエネルギーも守れません。特に課題となっている人材不足・外国人材の受け入れについては、私は「良質は悪貨を駆逐する」という考えで臨んできました。

故・安倍晋三元総理との 思い出

安倍総理(当時)が参議院選挙の応援に来道した時のひとコマです。案内役として随行しました。演説を聞きにものすごい数の聴衆が集まりました。学生との懇談でも気さくに話しかけるお姿が印象的でした。

「武部さんのお父さん(武部勤元自民党幹事長)にはお世話になったんだよ」といつも話しかけてくださいました。

武部 新



Q5 「人物評価」最後に、この地域選出であり、様々な政策課題に取り組んでいる武部新さんへの評価とエールをお聞かせください。

片山 武部新さんは、派手なアピールよりも「結果」で語る、今の永田町では稀有な「仕事人」です。

新過疎法や鳥獣被害防止特措法、有人国境離島法など、地域にとって本当に必要な法律を、粘り強い調整で成立させてきた実績は、霞が関でも高く評価されています。

直近では令和8年度予算案において、自民、維新、公明の3党実務者合意に基づき公立小中学校の給食費を抜本的に負担軽減する措置を盛り込むために、武部新さんが大車輪の活躍をされました。今年4月から大半の公立小中学校で給食費が無償となります。高市総理も私も、彼のような実務能力の高い政治家を頼りにしています。

また、先ほど申し上げた外国人材政策についても、現場の実情を知り尽くした彼なしでは、実効性のある制度は作れません。

中央と地域を太いパイプでつなぎ、国の政策を地域の力に変えることができる。武部新さんは、この国難の時代において、引き続き日本の政治の中枢で力を発揮していただかなければならない、地元にとって代えがたい政治家ですね。

